

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434 (〒659-0052 伊勢町12-25)

● 展覧会「芦屋写真展」●

■日時 10月6日～21日・午前10時～午後5時(入館は4時30分まで/最終日は4時まで) ■内容 昭和初期に創設された、芦屋カメラクラブや市内の写真家・写真愛好家を中心とした作品。併せて阪神間の大学で学ぶ学生の作品も展示 <同時開催>「写真/美博コレクション展」当館所蔵作品の中から「芦屋カメラクラブ」のメンバーであった、ハナヤ勘兵衛・紅谷吉之助・高麗清治・松原重三の作品を紹介 ■観覧料 一般300(240)円/大生200(160)円/中学生以下無料()は20人以上の団体料金 高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたやその介護のかたは、各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244
ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp (〒659-0052 伊勢町12-15)

【秋の特別展示】「陰翳礼讃」の世界～よみがえる伝統美
■日時 9月29日～12月24日 ■内容 谷崎文学のエッセンスが凝縮した「陰翳礼讃」その美意識を展示でご堪能下さい

【特別企画】能楽師・梅若基徳ライブトーク「能を語る」
■日時 10月21日(日)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 能を楽しむために知っておきたいことや、能にまつわることとおきの話 ■定員 40人 要予約 ■講師 能楽師・梅若基徳氏 ■参加料 1,500円(入館料含む) ■申し込み 上記へ

【特別企画】現地講座「陰翳礼讃」の世界にひたる
■日時 10月26日 11月9日(金) 午前11時～午後3時 ■会場 有馬温泉「御所坊」 ■内容 谷崎潤一郎の小説にも登場する昭和初期の木造3階建て本館で、照明の工夫などでほの暗い「陰翳美」が体験できます。宿泊プランもあり(要問い合わせ) ■定員 各25人 ■講師 武庫川女子大学文学部教授・たつみ都志 当館学芸員・永井敦子 ■参加料 6,000円(昼食・入浴料含む) ■申し込み 上記へ
《開館時間》午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
《入館料》400円(特別展開催期間)《10月の休館日》1日(月)・9日(火)・15日・22日・29日(月)

秋の公民館講座・公民館セミナー

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

《秋の公民館講座》
【芦屋大学公開講座】「人間関係」について考える
■期間 11月10日～12月1日(土) 午前10時～11時30分 全3回 ■会場 市民センター講義室
■内容 「スポーツと人間関係」芦屋大学教授・比嘉悟氏 / 【座談会】人間関係・韓露露・芦屋大学教授・伊川徹氏ほか / カウンセリングと人間関係 芦屋大学大学院客員教授・早坂三郎氏ほか
■定員 60人 ■受講料 1,000円
【達人から学ぶ日本料理】
■期間 11月15日～12月13日(木) 午前10時～11時30分 全4回 ■会場 市民センター講義室
■内容 間違いないお店選びとマナー、日本の食文化の源流ほか ■定員 60人 ■講師 料理研究家・近藤一樹氏 ■受講料 1,600円
《申し込み》講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、はがきかファクスで10月31日(水)までに上記へ。応募多数の場合は抽選(市内在住のかた優先)

《公民館セミナー》
【①親学セミナー「ネット社会に潜む危険！子どもたちを守るには？」】
■日時 11月14日(水) 午前10時～11時30分 ■会場 市民センター音楽室 ■内容 携帯・インターネットの危険から子どもたちを守る手段・大人の役割を皆で考えます ■定員 120人 託児 2歳以上就学前児、400円<要予約> ■講師 青少年メディア研究会 副理事長・下田太一氏 ■受講料 400円 ■申し込み P T A 会員、小・中学校は各担任へ、幼稚園は P T A 役員へ
【②恋を招く恋愛セミナー&クッキングパーティ】
■日時 11月17日(土) 午前11時～午後4時 ■会場 市民センター料理室 ■内容 「伝え上手・聞き上手」のコミュニケーション力の磨きかた、「美肌かほちゃフォンデュとアーモンドアップルパイ」を作ります ■対象 27歳～49歳の男女各15人 ■講師 夢こらぼ主宰・松尾やよい氏 ■受講料 2,400円(材料費込み)
《申し込み》セミナー名・住所・氏名・電話番号・年齢を記入し、はがきかファクスで、(10月31日11月9日)消印有効 までに上記へ。応募多数の場合は抽選(市内在住のかた優先)

10月前半 CATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしやトライ あんぐる 放送時間(15分)

オープニング	東芦屋公園	9:00
トピックス	芦屋市民スポーツ啓発講座 「運動不足解消と健康管理のためのウォーキング・クリニック」	12:00
	第33回自由研究・教育活動展	15:00
特集	健康遊具を使って 気軽に楽しく健康づくり	18:00
	ウォーク&バスツアー参加者募集	22:30
お知らせ	「芦屋 橋ものがたり」より	※DVDの貸出可
エンディング	「芦屋 橋ものがたり」より	

■広報番組「あしやトライ あんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ 樹ヶケーブルネット神戸芦屋(J.COM)カスタマーズセンター ☎0120-999-000

人権相談

いじめ・いやがらせ、名誉棄損、信用問題その他人権に関することでお困りのかたは、人権相談をご利用ください。《秘密厳守・要予約》

■日時 10月9日・23日(火) 午後1時～4時
■会場 市役所北館第2会議室
■相談時間 1人1時間(原則)
■相談員 人権擁護委員(法務大臣委嘱)
■申し込み 当日午前中までに、電話で下記へ

問い合わせ 人権推進担当 ☎38-2055

公民館音楽会 詩人の国ポーランドとつなぐ ソプラノ・ピアノコンサート

■日時 10月27日(土) 午後1時30分～3時 ■会場 市民センター音楽室 ■出演 ヤジャ・ザポルスカ(ソプラノ)・榊原契保(ピアノ) ■曲名 「いとしい人」、「マイフェアレディ」より、「ノクターン選作」ほか ■参加費 500円 ■申し込み 事業名「公民館音楽会」/住所・氏名・電話番号・参加人数を明記し、10月15日(月)までにはがきかファクスで下記へ

問い合わせ 榊原契保
公民館 ☎35-0700/☎31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

第63回市民寄席「ごこば・南光・雀三郎三人会」

■日時 11月30日(金) 午後6時30分開演
■会場 ルナ・ホール <全席指定>
■出演者 ごこば・南光・雀三郎・米左・雀太
料金 当日3,500円(前売3,000円)
チケット発売所 市民センター事務所 市役所売店・ローソンチケット Lコード 55456 *10月3日(水)発売開始

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700

市民ギャラリー・ステージ

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

■10月のギャラリー		(会場)市民センター
7日(日)午後1時～11日(木)午後4時	『絵画友の会 20周年』作品展	多目的ホール
12日(金)午前11時～15日(月)午後4時	絵画グループおいしいクラブ作品展	多目的ホール
12日(金)正午～15日(月)午後4時	第43回芦屋絵画グループ展	301室
24日(水)午前11時～27日(土)午後4時	三条コミスク園芸クラブ作品展	多目的ホール
28日(日)正午～11月1日(木)午後3時	第5回森茂子絵画グループ作品展	301・302室
■10月のステージ		(会場)
14日(日) 午後2時開演(1時30分開場)	しの笛の調べ～秋の彩	小ホール
27日(土) 午後6時開演(5時30分開場)	ちやいるど&ママモダンダンス発表会2012	ルナ・ホール
28日(日) 午前10時30分開演(10時開場)	第40回芦屋市吟詠剣舞連盟記念発表会	ルナ・ホール

芦屋市全体の結果

文部科学省と外部委託業者からの「全国学力・学習状況調査」の結果を取りまとめましたので、芦屋市全体の結果についてお知らせします。

2年ぶりに実施された本調査は、今年度、理科が加わりました。教科についての結果は、小中学校ともに、全ての教科で全国平均を上回り、市教育委員会では「十分に評価できる結果」と考えています。また、質問紙調査結果では、本市児童・生徒の学習習慣、生活習慣等に関して課題が読み取れることから、今後、積極的に改善に取り組みます。

調査結果の公表

【国県の基本方針】
文部科学省および兵庫県教育委員会は、調査結果については、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一面に過ぎないことなどを踏まえ、公表にあたっては、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することとしています。
【本市の基本方針】
本市においては、調査結果を十分に把握検討し、今後の教育施策や教育実践の改善に反映していくことが重要であるとの基本的な考えのもと、説明責任を果たすためにも市全体としての結果を示すこととしています。ただし、学力に関しては平均正答率等の数値による公表は行わないこととしています。

教科に関する調査結果

全国平均を100とした場合の、本市の比較割合として、四段階評価で表しています。
■極めて良好 一五以上
■良好 一〇五以上 一五未満
■おおむね良好 九五以上 一〇五未満
■課題あり 九五未満

対象学年	在籍数(人)	受検者数(人)
小学6学年	808	785
中学3学年	540	516
合計	1,348	1,301

【調査の実施概要】
■調査実施日 四月十七日(火)
【調査の内容】
①教科に関する調査
【国語】A.算数・数学A【主として知識】
身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響をおよぼす内容
実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
【国語】B.算数・数学B【主として活用】
知識・技能等を実生活のさまざまな場面(活用)に力にかかわる内容
さまざまな課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力などにかかわる内容など
【理科】知識に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う

【全国平均と比較した芦屋市全体の傾向】

教科	区分	結果	
		全国平均	本市
小6	国語	A(知識) 良好	A(知識) 良好
	B(活用) 良好	B(活用) 良好	
中3	算数	A(知識) 良好	A(知識) 良好
	B(活用) 極めて良好	B(活用) 良好	
理科		良好	良好

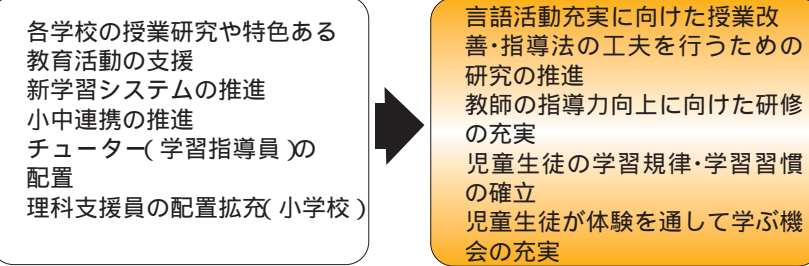
全国の傾向と同じく「記述力」「説明力」に課題

各教科の領域別(知識・活用)の各問題に関して正答率の状況を見ると、基本的な知識は身について評価できます。一方、2つの事項を関連付けて考えたり、筋道を立てて考えたことについて理由を説明する時に、もれなく記述したり説明したりすることについて課題があります。これらは、全国の状況と同じ傾向です。課題があるとした問題については、無解答率が高くなる傾向が見られます。

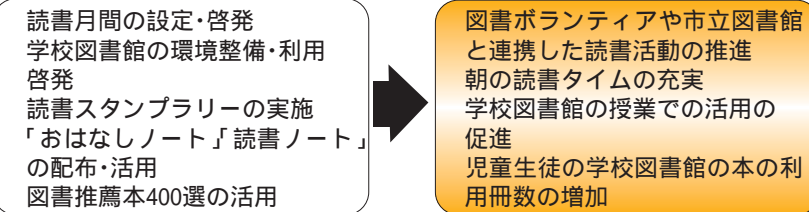
教育委員会の取り組みについて

教育委員会では、芦屋市教育振興基本計画に基づき、児童生徒の知・徳・体の調和した「人間力」の育成、学力向上のために、本調査の結果を活用し、次のような取り組みを進め、学校の教育活動を支援していきます。

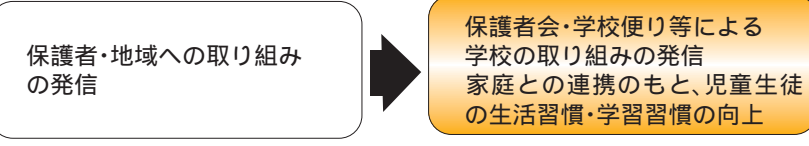
(1) 新学習指導要領に基づいた学習指導の充実



(2) 読書習慣確立を支援するための施策



(3) 家庭への啓発・連携の強化



※児童生徒の生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の全結果については、芦屋市教育委員会学校教育課のホームページに掲載しています。

教科の学習に関する質問紙調査結果
理科の勉強が好き、大切、授業で学習したことは将来役に立つと答えた割合は小学生中学生ともに全国より高く、特に中学生で高くなっています。
理科の勉強が好きな児童生徒の割合は、全国と同様に国語、算数、数学に比べて高いが、理科の勉強が大切、理科の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと回答した児童生徒の割合は、国語、算数、数学に比べて低くなっています。
「国語の授業がよくわかる」と回答した小学生の割合は全国平均と比較して高いが、中学生の割合が低くなっており、小中の差が大きくなっています。
「算数・数学の授業がよくわかる」と回答した割合は小中学生ともに全国平均よりも高く、小中の差も小さくなっています。

クロス集計結果

生活習慣や学習環境(質問紙調査票)と学習状況との関係

1. 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察をしている」と回答した児童生徒の平均正答率と市全体の平均正答率との比較 (単位%)

	国語A	国語B	算数A・数学A	算数B・数学B	理科
小学校	+3.4	+5.9	+4.9	+7.2	+5.5
中学校	+4.3	+5.0	+7.7	+9.1	+9.5

観察や実験の結果をもとに考察をしている児童生徒は、小中ともに全ての教科にわたり、市の平均正答率を上回っており、特に活用を問うB問題でその差が顕著となっています。

2. 「読書が好き」と回答した児童生徒の平均正答率と市全体の平均正答率との比較 (単位%)

	国語A	国語B	算数A・数学A	算数B・数学B	理科
小学校	+2.0	+3.7	+1.4	+2.8	+2.7
中学校	+4.6	+4.6	+5.3	+6.5	+6.2

読書が好きな児童生徒は、小中ともに全ての教科にわたり市の平均正答率を上回っており、特に中学校でその差が大きくなっています。

「理科の授業がよくわかる」と回答した割合は小中学生ともに国語、算数・数学よりも高く、特に中学校

では全国に比べ、より高い割合となつています。

